

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	
	エグザイル					
オプション			年齢		性別	
覚醒	死	衝動	飢餓		初期侵食率	32 %
出自		経験			邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：0		合計回避：0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセ	3	2						
効果：								
伸縮腕	3	2						
効果：								
生命の黄金律	5	5						
効果：								
異形の捕食者	5	6					120	
効果：								
骨の剣	8	3						
効果：2*LV+5								
過剰反応	5	3						
効果：								
	1							
効果：								
擬態の仮面	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

物静かでどこか自分や他人を一步引いた眼で見ているような態度をとる。
それは性格というより、自分は本当に自分として生きているのかという疑問が常に胸の奥に残っているからだ。
彼はかつてFHIによるジャーム化実験の被験者として拉致された。
生体限界を超える改造と不可実験の末、内臓器官の大半が消失、投与されたウィルスの方で辛うじて生きている状態であり、死は時間の問題だった。
UGNに回収された彼は生死の境でジャームともオーヴァードともわからない空っぽの意志の中、ただ存在していただけだった。
UGNが治療を諦め凍結処理を行うために研究所に彼を移送した際、研究所に保管されていたゾディアックウエボン「アクエリアス」が前例のない反応を示した。
その姿を流体に変化させ、まるで空の器に水を溜めるように彼の失った臓器の代わりとなりジャーム化が進行していた体を復元させ、その体を生命維持に最適化された構造へと再設計した。
現在、彼の体内は「アクエリアス」により構築、安定化された臓器があり、普通の人間と同様の生命活動を行うことが可能だ。
「アクエリアス」は彼の体内に埋まっており、彼の身に危険が及ぶとその身を変化させて戦闘に特化したフォルムへと変化する。
器に選ばれた彼は今日も戦う。その体が自分の物であると信じるために。

UGN研究記録
ZW-11：Aquarius
天馬博士により研究されているゾディアックウエボンの内の一振りで、水瓶座のサインが施された剣。
過剰浸食のため隔離されていた「ZW-i13：Ophiuchus」（現在は当該武器の適合者が所有）をベースとして、人間性を保ったまま力を振るえる限界の浸食値へと調整を施されている。
現在は適合者である が所持している。